

静岡県果樹農業振興計画の骨子

現状 (H26)

果樹の栽培面積は減少傾向。
みかん生産量は前年より多かったが、腐敗が多く単価が伸びなかったことから、産出額は若干減少。

☆消費・販売

- 年明け県産みかんシェア 42%
- 果実加工品販売額 13.2 億円
- 県みかん機能性表示食品が占める割合 0%
- しずおか農水産物認証及びGAP等認証 7産地
- みかん販売単価の全国比較 121%

☆生産

- 認定農業者 727 戸
- ビジネス経営体 6 法人
- 栽培面積(果樹) 8,630ha (H22 対比 94%)
内温州みかん 5,890ha (H22 対比 96%)
// 全国シェア 13.0%
- 生産量(果樹) 14.3 万 t (H22 対比 104%)
内生産量温州みかん 12.5 万 t (H22 対比 102%)
// 全国シェア 14.3%
- 果実産出額 283 億円 (H22 対比 120%)
内温州みかん 233 億円 (H22 対比 128%)
// 全国シェア 16.7%
- 温州みかん改植面積 154.9ha/年
- 担い手への農地集積 16%

主要な推進事項

～将来にわたり誇りを持てるみかん産地であるとともに、
県民の豊かで潤いのある生活に貢献できる本県果樹農業の継続的な発展を実現するために～

I 本県産果実の消費創出と拡大

経済産業ビジョン
基本方向Ⅰ：「場の力」を活用した地域経済の活性化

★ 人々を惹きつける都づくり

- ・「食の都」づくりとの連携
(消費構造の変化に対応した施策の推進、対象を明確化した消費・需要拡大対策の推進)
- ・ふじのくにブランドの推進
(ブランド品の創出・強化、機能性表示制度の活用と認知度向上、国内販売開拓・情報発信、食の安全・安心、環境に配慮した農業の推進)
- ★ふじのくにブランドを活かした戦略的な海外展開
・輸出に向けた産地の取組支援
- ★6次産業化による高付加価値化の推進
・事業者の取組への支援

II 高品質安定生産と産地維持に向けた生産力の強化

経済産業ビジョン
基本方向Ⅱ：豊かさを支える農業の強化

★攻めの農業を担うチャレンジ精神あふれる経営体の育成

- ・ビジネス経営体の育成
- ・農業従事者の確保と育成
- ・企業参入の推進
- ★優良園地の確保と集積等による園地の徹底活用
・園地集積の推進
- ・果樹園地の生産基盤整備の推進
- ・荒廃農地対策の推進
- ★生産体制の強化
・優良品目・品種への転換の加速的推進
- ・改植及び基本管理の徹底による連年安定生産
- ・販売戦略に基づいた新技術の導入と施設整備
- ★新技術の開発と普及
・大規模化を可能とする省力・低コスト栽培技術の開発と普及
- ・県オリジナル新品種の育成と普及
- ・環境と調和した果実生産の推進
- ・気候変動に適応した栽培技術の開発・普及

III 果樹園の持つ多様な価値の活用による豊かな農山村づくり

経済産業ビジョン
基本方向Ⅲ：住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり

★快適な農山村の暮らしの実現

- ・農山村における安全・安心の確保 (野生鳥獣被害対策)
- ★果樹園の持つ多様な価値の活用
・ふれあいの場としての果樹園の活用
- ・果樹経営におけるユニバーサル園芸の推進

目標 (H37)

★消費・販売

- 年明け県産みかんシェア 42%以上
- 果実加工品販売額 15 億円
- 県みかん機能性表示食品が占める割合 80%
- しずおか農水産物認証及びGAP等認証取得 10産地
- みかん販売単価の全国比較 120%以上

★生産

- 認定農業者 760 戸
- ビジネス経営体 11 法人
- 栽培面積(果樹) 8,630ha
内温州みかん 5,890ha
- 生産量(果樹) 15.0 万 t
内温州みかん生産量 13.1 万 t
- 果実産出額 330 億円
内温州みかん 272 億円
- 温州みかん改植面積 130ha/年
- 担い手への農地集積 31%

静岡県果樹農業振興計画の進捗評価

(農業局農芸振興課)

平成29年1月に策定した静岡県果樹農業振興計画（目標 令和7年度）は、果樹農業の継続的な発展を実現するため、「県産果実の消費創出」、「高品質安定生産に向けた生産力の強化」、「果樹園の多面的活用」を基本方向とし、施策を展開している。

目標に対し概ね計画通りに進捗したが、栽培面積、生産量は減少した。

消費 販売	年明け県産みかんシェア	42%	49% (H30)	42%以上	◎
	果実加工品販売額	13.2億円	—	15億円	—
	県みかん機能性表示食品が占める割合	0%	83% (H30)	80%	◎
	しずおか認証及びGAP等の取得	7産地	11産地 (R元)	10産地	◎
	みかん販売単価全国比較	121%	119% (R元)	120%	○
生産	認定農業者	727戸	773戸 (H30)	760戸	◎
	ビジネス経営体	6法人	7法人 (H30)	11法人	○
	栽培面積	8,630ha	農水省非公表	8,630ha	—
	内温州みかん	5,890ha	5,580ha (H30)	5,890ha	△
	生産量(果樹)	14.3万t	13.2万t (H30)	15.0万t	△
	内温州みかん	12.5万t	11.5万t (H30)	13.1万t	△
	果実産出額	283億円	298億円 (H30)	330億円	○
	内温州みかん	233億円	249億円 (H30)	272億円	○
	温州みかん改植面積	155ha/年	145ha/年 (H30)	130ha/年	◎
担い手への農地集積	16%	—	31%	—	

評価の◎は達成、○は概ね達成、△はやや達成できなかった、—は現状値がないために評価できなかった。

＜残された課題＞

- ・ 販売環境は好調であるが、十分な農業所得が得られず、加速度的に高齢化が進んでいる産地がある。
- ・ 高齢化、労働力不足の影響により、需要を満たす品質・量の確保が困難となっている。
- ・ 温暖化の影響による浮き皮果や着色不良果の発生等により、安定生産が難しくなってきた。
- ・ 市場の商物分離等、販売環境の変化に対して、取引先との連携が不足している。
- ・ 食味、価格だけではなく、機能性への関心が強くなる等、消費者ニーズは多様化しており、本県産果実の魅力を生かした需要拡大を継続する必要がある。